

令和8年度 学校経営方針 教育活動の重点と内容

立川市立立川第六中学校

校長 千頭和 正巳

1. 特別支援教育の視点を生かした教育活動の推進

特別支援教育の理解と指導力や専門性の向上を図る。個別指導計画・教育支援計画等の作成や不登校の改善、学校不適應の指導・対応の充実を図り、ユニバーサルデザイン（以下UD）の考えを取り入れた環境整備と授業づくりを推進する。

校内特別支援委員会を開催（木曜日）し、情報の共有化を図る。SSW、子ども家庭支援センター、教育支援センター、医療機関等の外部機関と連携し、支援体制の充実を図る。

（校内のUD環境）

- 教室前面の黒板、ホワイトボード、には掲示をしない
- 年間を通して掲示するもの（避難経路、年間時程、学校・学年・学級目標等）は、できるだけ統一した場所に掲示
- 諸掲示は場所を問わず、見やすさや美化を意識

（UD視点での授業実践）

- 授業の「めあて」、「ながれ」、「まとめ」等の提示
- 板書の際、文字の大きさ、使用するチョークの色等の工夫
- 視覚・聴覚情報を積極的に活用
- 授業の構造化など、生徒が戸惑わない基本的な授業パターンでの授業実践
- 生徒による「課題解決」等の時間の設定

（合理的配慮）

- 情報を正しく共有し、校内で統一した支援

（校内委員会）

- 生徒の実態把握 支援を要する生徒への対応
- 支援内容、配慮方法の検討 ⇒ 全校統一した具体的支援の実施の推進
- プラス入退級検討、通級指導の進捗
- 外部機関との連携
- 校内委員会の情報は全教員で共有

2. 働き方改革の推進

- (1) 定時退勤ウィーク、学校閉庁日の設定
- (2) ペーパーレス化などの校務DXを推進し、業務の効率化を図る
- (3) 年次有給休暇、看護休暇等の取得の促進
- (4) 長期休業中の時差勤務の活用
- (5) 教育諸課題に対する組織的対応

3. 安全で安心な学校づくりの推進

感染症への対応、首都直下型地震や台風等の自然災害を想定し、防災教育・安全指導の充実を図る。施設・設備の安全点検を定期的に行い、校内の環境美化に努め、活動の安全性に十分配慮する。SNS等の利用によるトラブルや被害に巻き込まれないように情報モラルを徹底する。給食時など、食物アレルギー対応を複数の教員で行うことで事故を防止する。